

令和5年度第5回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 令和5年（2023年）11月9日（木） 午前10時30分～同11時30分
- (2) 開催場所 宝塚市役所 3階 2-3会議室
- (3) 出席者
 - ・景観審議会デザイン協議部会委員
徳尾野部会長、山根委員、澤委員、高木委員、廣田委員
 - ・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）
福田室長、谷口課長、下山係長、武田職員、白川職員
 - ・事業者
議事① 事業者 日本中央競馬会 阪神競馬場
設計者 株式会社三弘建築事務所
- (4) 議 事
議事① 阪神競馬場仁川寮改築（第1期）工事
- (5) 傍聴者
議事① 0名

2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員8名中5名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第5条に準用する宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

会 長： 本日の署名委員は、4番の高木委員と10番の廣田委員です。

☆☆☆☆ 阪神競馬場仁川寮改築（第1期）工事 ☆☆☆☆

会 長： 景観に配慮された点について5分程度で説明をお願いします。

設計者： 阪神競馬場の敷地外にある既存寮の老朽化に伴い、敷地内駐車場の一部を利用して、新たに3階建ての寮を建築する計画です。

3階建ての計画ですが、今回の敷地は南側道路から5m程度下がっていますので、道路の向かい側にある2階建ての住宅とほぼ同じ高さとなります。

建物は横に長くボリュームがあるため、3色を使い分けて分節することで圧迫感が出ないように配慮しました。また、白を基調としたサンライトウォークと南側の住宅地に馴染むような色彩計画としました。

サンライトウォークからの見え方については、高さ2.1mの目隠しパネルがあるため、競馬場へ向かう方の視線に直接入らないようになっています。

会 長： では、委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 色彩についての意見をお伝えするのに、参考として1点教えてください。阪神競馬場でメインとして使用されている薄い緑色のマンセル値は分かりますか。

事業者： この場では正確には分かりかねるのですが、手元の色見本を見ると、おそらく5G8/3程度ではないかと思います。

委 員： ありがとうございます。今回計画されている建物の外壁に使用されている3色のうちの最も薄い色である10Y8/1や中間色である5Y7/1は、クールなイエローで、緑色と近い色ですので、既存建物の5G8/3と調和する色ですね。

それから、この外壁材は、計画されている色の他にもいくつか選択できる色があるような商品でしょうか。

設計者： 現在はこの3色で進めたいと考えていますが、どうしても支障があるようなら検討いたします。

委 員： 今回は、3色を塗分ける外壁とすることで、横長の建物を分節し、景観に配慮いただいているとのことですが、この3色のうち最も薄い色である10Y8/1と中間色である5Y7/1は非常に近い色です。そのため、この2色での塗分けの効果はあまりないと思います。また、今回は、周囲から一段下がった敷地であるため、影が入りやすく、南側であっても暗い印象になりやすいと思います。周

辺の住宅との調和も考えると、最も暗い色である 2.5Y3/1 は使わない方が良いのではないかと感じました。最も薄い色と中間色は1色にまとめて、最も暗い色の色彩も少し変更いただけるとより良くなると思います。

また、屋根の 1.5B5.1/0.4 は、住宅でよく使われる和瓦の明るい方の色という印象です。今回は建物が大きいため、やや明るすぎると感じますので、もう少しトーンを落としていただいた方が住宅地と調和すると思います。

会 長： 住宅地に隣接していることや、不特定多数から頻繁に見えるような建物でないこと、また、周囲の道路などからも離隔距離のある配置ですので、あまり細かく色分けするよりは、2色程度が良いのかもしれませんが、最も暗い色が少し暗すぎることですので、もう少し明るい色に変更した方が良いということですね。

事業者： 建物の立面が比較的長大なため、3色程度で分節するのが良いと考えていましたが、面積の小さい東面や西面にまであえて3色とする必要は確かにはないかもしれませんが。また、面積の大きい南面や北面についても、濃い色を抑えることや2色にすることなどを踏まえて、バランスのとれた色彩計画となるよう検討します。

会 長： 屋根についても、面積が大きいため、実際より明るく見えると思います。建物の高さが低いので、照り返し等にも配慮する意味でも、再度検討いただければと思います。

事業者： 検討させていただきます。

委 員： 敷地南西側に新設されるアプローチ部分についてです。

この部分は、既存では緑量も多く、非常に豊かな印象です。今回この辺りに新しいアプローチなどをつくった後の見え方や景観上の印象が気になります。

まず、位置について、少し東側に寄せるなどし、南西角ではない位置に通路やゴミ置き場、自転車置き場を作ることはできないでしょうか。

位置の変更がどうしても難しい場合は、植栽で上手く目隠しされるのも良いと思います。ゴミ置き場や駐輪場のフェンスの辺りには、植栽を密に植えるなどし、景観に配慮いただきたいと思います。

事業者： まず、位置については、寮から仁川駅方面へ行くにあたって最も利便性が高いのがこの位置ですので、位置の変更は行いません。また、玄関の反対側にあ

り、非常用階段を兼ねた勝手口としても、この位置が最も合理的であると考えています。

しかし、これまで植栽等であった部分に、通路やゴミ置き場、駐輪場などの人工物が設置されることについて、景観上の配慮が必要であるという事は理解しますので、植栽等での配慮を行っていきたいと思います。

会 長： 駐輪場の位置ですが、現状は非常に豊かな緑があり、景観上非常に重要なポイントです。駐輪場だけでも、ゴミ置き場の東側辺りに変更するという事は出来ないでしょうか。

設計者： 南側道路沿いの斜面は非常に狭く、また、急勾配です。ゴミ置き場の東側に変更すると、新たに地盤を造る必要があり、位置の変更は難しいです。

会 長： 状況は理解できますが、やはりこの場所は、景観上非常に重要です。
例えば、この駐輪場の南側の正面の間口を出来るだけ狭くするといった配慮はしていただけないでしょうか。

設計者： 現在の計画では、出入りするのには南側の門扉のみで、駐輪場の南側にはフェンスがありますので、間口はそれほど大きくなりません。

事務局： 南側は、生垣が連続するような通り景観が残るのでしょうか。

設計者： そのようなかたちで植栽を残そうと考えています。

委 員： 植栽はこのまま残って、新たに両開きの門扉のみを取り付け、その奥に駐輪場とゴミ置き場を整備するという事ですね。

設計者： はい、フェンス等は既存利用しますので、そこに門扉だけを取り付けます。
植栽については、連絡通路や駐輪場、ゴミ置き場といった部分はどうしても伐採しないといけません、極力保全します。
また、全てコンクリートのたたきとはならないよう、手前は植栽を植える等目隠しをするように検討します。

委 員： 床仕上げについても、コンクリートのたたきより、もう少し周りと同染むような仕上げにしていいただければと思います。

会 長： 道路から駐輪場への動線を考えると、道路際に少し余白があるようにお見受けします。この南東の角の部分には、少し植栽が計画できるかと思しますので、是非植栽をお願いします。道路際にはできるだけ植栽スペースを設けて、植栽のない空間ができるだけ短くなるようにして下さい。道路からの見え方について、最大限の配慮をお願いします。

設計者： 分かりました。検討します。

委 員： 競馬場のメインの建物の大屋根が美しく、時々鳥瞰写真を目にします。今回建物の屋根の色はほぼグレーで、その上に太陽光パネルの黒とキャットウォークの色も載ってくるかと思しますので、色数が多く少し雑多な印象になるのではないかと感じました。鳥瞰写真での見え方についても配慮した色彩計画にしていればと思います。ちなみに、キャットウォークはメンテナンス用ですか。色は何色でしょうか。

設計者： キャットウォークはメンテナンス用で、色は亜鉛メッキ色を考えています。屋根の上に載せますが、エキスパンドメタルですので、上から見ると下の屋根の色が透けて見えます。

委 員： ベランダの室外機は置き型ということですが、南立面の各階上部の黒いストライプ部分にエアコンの配管は被らないでしょうか。

設計者： 被りません。

委 員： 外壁の最も暗い色である 2.5Y3/1 の部分について、もう少し明るい色が良いという先ほどの意見に賛成です。是非検討をお願いします。

なお、分節については、南側道路との高低差により、高さよりも横方向が気になってくるのではないかという思いもあります。今回計画されているように、最も暗い色で横ラインを入れると、更に横方向が強調されることが懸念されますので、そのあたりも踏まえて、再度ご検討いただけたらと思います。

周囲より敷地が低いことや、既存植栽を概ね保全していただけるので植栽によって横方向が分節されることを考えると、あまり建物単体での分節は必要ないように思います。建物単体の立面も当然大事ですが、高低差や植栽等の敷地全体の状況を踏まえて、実際にどのような見え方になるのかということを検討し、また、その結果を資料でご提示いただけるとより良いと思います。

また、前回の特高受変電棟のデザイン協議資料を拝見しましたが、縦方向に

スタイリッシュなイメージで、今回とは考え方が違うように感じます。全体的な色についても、既存の薄い緑の外壁に対してどう考えるかという議論もあったかと思います。

非常に広い区域で、周辺の状況もそれぞれ違うため、区域内全てを同じにする必要はないと思います。しかし、前回のデザイン協議部会の回答書にありました「今後の改修に向けて全体のデザインコンセプトやマスタープラン作成」については、景観上重要なものだと思いますので、改めてご検討いただければと思います。

事業者： デザインコンセプトやマスタープランについては、現時点で公表できるようなものはまだない状態ですが、前回いただいたご意見については、しっかりと認識しております。今回いただいたご意見も参考にしながら、日々の業務の中で、今後も検討を進めて参ります。

会長： 植栽計画なども含めた大きな方針を決めていただければ、その方針やプランを前提に協議が出来ますので、この機会に改めて改修の方向性等を示したマスタープランをご検討いただければと思います。

また、今回の計画によって駐車場がかなり減ってしまいますが、代替えの駐車場などの計画があるのでしょうか。

事業者： こちらは業務用の駐車場となります。今回の計画地とは別の場所に、空きがある既存の駐車場がありますので、そちらを利用することで調整する予定です。

会長： これによって路上駐車が増えることはないですね。

事業者： そのリスクはないと考えます。

会長： 本日は、外壁の色彩や分節について、また、アプローチ部分に景観上配慮をしていただきたいということ、また、全体のマスタープランなどについての意見がありましたので、検討をお願いします。

それでは、本日の協議はこれで終了とします。